



碧南ロータリークラブ週報

第3178回例会 令和8年9月30日(水)

- 会長 杉浦 栄次
- 幹事 岡島 晋一
- 会場監督(SAA) 石川 鋼逸

2026-2027 年度
国際ロータリー会長メッセージ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
ホームページ: <https://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- 会報委員 長田康弘・石川昌樹・三木信幸

**CREATE
LASTING
IMPACT**

持続可能な
インパクトを
生み出そう

●斉 唱

ロータリーソング「今日も楽し」

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

住化プラスチック(株) 西日本担当部長 平里泰典様

会 長 挨 拶

失礼致します。

本日も例会にご出席いただきまして、ありがとうございます。暦は今日が9月の最終日になりまして、明日からは10月ということでございます。なんかずっと雨が続けておりまして、秋雨前線がずっと居座っているというような状況が続いております。東京では34日雨続きということで、観測史上最長記録だそうでございます。

長雨もそうなんですけれども、千葉もそうですし、名古屋もそうでしたけれども、非常に記録的な大豪雨が起きました。また、台風26号も近づいていますので、少し心配なところであります。異常気象というのが、日本に限らず世界のいろんなところで起きております。ご記憶に新しいのがネパールの大洪水です。あんなことが起きるんだなということで、実際の映像で見ると恐ろしいなということでありまして、被災された皆さんに対してお悔やみの言葉も見つからないような状況ではないかなと思います。

異常気象というと、私も1回見たんですけれども、NHKが2006年頃に「気候大異変」という番組をやったことがあります。今もDVDとかでご覧いただけるものだと思うんですけれども、内容は20年ほど前にその当時最新のスーパーコンピュータ「地球シミュレータ」と



杉浦栄次会長

いうのをを使って、今後 100 年の世界の気候を予測するというような番組でした。地球の温暖化とか、異常気象とか、巨大ハリケーンとか、東京の気候の変化とか、100 年後の日本の豪雨や水害の変化などが紹介されていました。

それを現在に照らし合わせてみると、スーパーコンピュータが予測したことに近づいているのがわかるんです。東京は猛暑日が 100 日を超えるという予測がされていまして、100 日は超えてはいないんですけれども、確実に増えるという方向に進んでいることは間違いないです。豪雨についてはほぼ大当たりでございまして、日本のあちこちで集中豪雨が起きますよというのもスーパーコンピュータで予測していました。

台風の経路と大型化についても、私たちが子どもの頃だったら、紀伊半島から来て、この辺りを通してというような台風が普通のルートだったと思います。最近の台風のルートはそこからさらに関東に直撃するというふうになっていますけれども、それもスーパーコンピュータは予測していました。

そして、アメリカで起こるようなハリケーンみたいな 2 つの台風がひっついて大型化するというようなのをシミュレーションしていましたけれども、そこら辺まではまだ現実的にはなっていないんですけれども、今後はそういうような状況もあり得るのかなというところですね。

それから、海水温の上昇や農作物のできる場所がどんどん変わっていくというようなことも予測していまして、例えば、リンゴが信州では採れなくなって、お米が秋田では採れなくなってというようなことも予測されていて、その予測が外れてくれるのが一番いいんですけれども、そういったことも実際にちょっとずつ現実味を帯びてきているというのがあります。

大事なことは 20 年前にそういう予測ができたんですけれども、20 年間で人類は何もできていないんじゃないかなと思ひまして、そこが一番問題あるんじゃないかなと思います。異常気象、地球環境の変化というのが我々の経済活動にも大きな影響をもたらしますので、その辺りをもう一度、一経済人としても考えていかないといけないのかなというふうに思っています。

本日の卓話は経済と環境に関連したお話をいただけたと思いますので、興味深く聞かせていただきたいと思います。

本日の例会もよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ ガバナー事務所より「2026-27 年度国際ロータリー・ゾーン 1A.2&3 ロータリー財団地域セミナー開催のお知らせ」が届いております。
- ・ ガバナー事務所より「バルセロナ国際大会 地区ナイトのご案内」が届いております。
- ・ 蒲郡 RC より「事務局住所変更のご案内」が届いております。



岡島晋一幹事

- ・ 10月7日（水）の例会終了後に第4回理事会を開催致しますので、役員、理事の皆様はよろしくお願い申し上げます。

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 61 名（内出席免除者 17 名の内出席者 15 名）出席者 54 名	
出席対象者 54／59 名	出席率 91.53%
欠席者 7 名（病欠者 0 名）	

<ニコボックス>

- 杉浦 栄次君 } 9月16日のガバナー補佐訪問では、皆様のご協力のもと無事、終える事が出来ました。有難うございました。次は10月13日ガバナー公式訪問となります。何卒宜しく御願い申し上げます。
- 貝田 隆彦君 }
岡島 晋一様 }
岡島 晋一様 } 過日、家族会の下見にて、杉浦栄次会長に大変お世話になりました。高級ランチごちそうさまです。
- 亀山 晋次様 }
木村 徳雄君 } 9月26日～9月29日、ベトナム フエに行っていました。気温35度、日本の40度より涼しいけど湿度は高く、ビールは安くライトビール。フエ王宮見学しましたが、元の時代から中国に支配されていたので、お寺も宮殿も漢字の文字で様式も中国様式でした。日本も頑張ろう。
- 藤関 孝典君 } 9月3日、碧南ロータリークラブゴルフ例会にて幸運にも優勝させて頂きました。
- 石川 鋼勇君 } 昨日、小林清彦さんに大変お世話かけました。
- 鈴木 洋君 } 本日の卓話講師、平里泰典様をご紹介します。
- 亀山 晋次君 } 9月20日（日）、石川鋼勇さんご夫婦に妻ともども大変お世話になりました。楽しかったです！！
- 中川 哲君 } 木村徳雄さん、先週木曜日の夜、大変お世話になりました。ありがとうございました。

卓話

「“運ぶ”を支える工夫とは」

住化プラスチック㈱ 西日本担当部長 平里泰典様



平里泰典様

只今ご紹介に与りました住化プラスチック株式会社の平里泰典と申します。今日は「“運ぶ”を支える工夫とは」というお話をさせていただこうと思います。こういった場が初めてなので、大変緊張しております。よ

ろしくお願い致します。

弊社はプラスチックダンボール（プラダン）を作っている会社でございます。プラダンは、ダンボールをプラスチックにしたらもっと便利じゃないかというところから生まれた製品です。このプラダンを物流資材として、物を運ぶ場面の改善にどう使えるか、その中で包装資材を通じて「運ぶ」を支えていけるという自負がございますので、その辺りのお話ができればと思っております。

今日の結論からまいります。世の中の全ての仕事はものを「運ぶ」ということでつながっていて、生かされているということをまずお伝えしたいと思います。皆様のお仕事の中でも、ものを作ったり、ものを売ったりする過程で必ずその製品を「運ぶ」ということがあるはずで、す。今日のお弁当 1 つとっても、食料を仕入れて調理し、お弁当箱に詰めて運ばれてきました。運ばれて初めて食べることができる訳です。世の中のことが全て「運ぶ」でつながっている、非常に大切なものと言えらると思ひます。

ただ、この「運ぶ」は普段は当たり前すぎて、目の前にもものが届くことが当然だと思いがちですが、非常に世の中の影響を受けやすいものです。春先に中東紛争がありまして、ホルムズ海峡の航行が困難になって原油が足りなくなりました。次に紅海を通じた航路もフーシ派によって封鎖されました。今は地中海からアフリカを回って運んでおりますが、運搬日数もコストも変わります。船も足りなくなります。今の日本は何とか原油調達できておりますけれども、弊社はナフサをもとにプラスチックを作っておりますので、春先には初めてお客様に製品をお売りできないという経験をしました。

ものを運ぶことはものの価値をつなぐことです。高品質な製品を作っても、輸送中に傷がついたら価値がありませんし、必要な時に届かなければ意味がありません。包装資材は製品を守り、運びやすく、扱いやすくすることで、次の工程に渡すという非常に大事な役割があります。

しかし、この「運ぶ」には多くの課題があります。1 つ目は人手不足です。通販の普及などで運ぶ量は増えておりますが、働き手は高齢化し、不足しております。2 つ目は効率化です。もっと良く、もっと早く運ぶことが求められます。3 つ目は環境対応です。CO2 削減のための輸送の効率化や、使い捨てではなくリサイクル、リユースするための回収という「運ぶ」も含まれます。これらの課題を物流センターやトラックを増やすといった大きな投資ではなく、「包む」というところの工夫で解決できないかと考えております。

例えば、人手不足に対しては女性や高齢者でも扱いやすいよう、持ちやすく軽い箱にすることが考えられます。効率化のためにはトラックに隙間なく積めるよう、荷崩れしないような箱の工夫ができます。環境対応としてはリサイクル可能な素材を使い、何度も繰り返し使えるものにすることで貢献できます。

「包む」ことの役割は大きく 3 つあります。1 つ目は持ちやすくする。バラバラの部品も入れものに入れれば持ちやすくなります。2 つ目は保護する。振動や衝撃、汚れから中身を守ります。3 つ目は整える。部品をきれいに並べることで、探す手間を省き、傷も防げます。これらによって、次の人が仕事しやすいようにするという役割を持っていると思ひます。

「包む」の歴史は紐で縛ることから始まり、風呂敷、紙袋、ポリ袋、ダンボール箱と進化し

てきました。今では工場間で繰り返し使う「通い箱」や、コンテナなど選択肢が広がっております。大切なのは現場の仕事に合わせて最適なものを選ぶことです。ただ箱に入れるだけでなく、仕切りを入れて傷を防ぎ、数量を確認しやすくする。持ち手をつけて持ちやすくする。使い終わった後に折り畳めるようにして、回収しやすくするなど、小さな工夫で現場の改善が可能です。

最適な「包む」は現場ごとに違います。食品か、機械部品か。重いか、軽い。保管期間はどれくらいか。輸送距離は。こうした条件に合わせやすいのが、プラスチックダンボールかなと思います。プラダン（ポリプロピレン）を主原料とし、日本で生まれて約 50 年、今や世界中に広まっております。軽くて丈夫、水に濡れても大丈夫で、繰り返し使えます。そして、加工しやすいため、現場のニーズに合わせた工夫がしやすい素材です。

しかし、素材だけ良くても全体が良くなるということにはなりません。「作る（メーカー）」「包む（包装資材）」「運ぶ（物流）」の三者が連携し、トータルで考える「全体最適」が重要です。包装の工夫によって、運ぶ人の作業を楽にし、保管を容易にし、輸送効率を上げることができます。そして、繰り返し使うことで環境対応にもつながります。

弊社はプラスチックダンボールを作っているメーカーではありますが、資材そのものも売りたいと思っております。現場の困りごとをお聞きし、お客様の使い方に最適な形を提案することが大事だと考えております。「傷を減らしたい」「作業を楽にしたい」「保管スペースを減らしたい」といった小さな困りごとを「包む」工夫でつないでいく。それが弊社の役割だと思います。

最初に「運ぶ」が全てをつなぐ仕事だとお話しさせていただきました。そして「包む」ことで、その「運ぶ」をより良くするお手伝いができればと考えております。包装、保管、構内輸送、工場間輸送など、現場ごとの課題に合わせたものを考えていくことで、皆様の「運ぶ」仕事を改善していければと思っております。もし何かお困りごとがありましたら、お声がけいただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

令和 8 年 1 0 月 1 3 日（火）ガバナー公式訪問（高浜 R C 合同）

会場：衣浦グランドホテル 3 階

令和 8 年 1 0 月 1 4 日（水）は、1 3 日の振替休会